

# 趣 意 書

## 第 35 回全国児童・生徒木工工作コンクール

### テーマ「奏でよう 君と森とのハーモニー」

最近、地球温暖化が問題となり環境保護が叫ばれています。我々はこの木工工作コンクールを通じ、将来を担う子供達に木材をより身近に感じてもらい、さまざまな種類の木材に触れ、木材の強さ・香り・色・形・やさしさ・美しさ・暖かさという木の素晴らしさ知り、実際に自分で切ったり、削ったりする工作の楽しさ、完成した時の喜びを感じてほしいと願っています。そして、木を育てる森について考え、木の利活用が我々人間社会の生活や地球環境にとって大切であることを意識していただけたら幸いに思います。

また、子供をはじめとするすべての人々が、木とふれあい、木に学び、木と生きようという取り組みである「木育」という観点からも、当コンクールを通じて木の良さを感じていただけたらと考えております。

そして、将来は木材を使用した住宅・家具などに興味を寄せてもらい、木材を有効に使っていただきたいと思います。また木青連の活動を通じ、木材が地球環境保護に重要な役割を果たしていることを理解してもらえればとの願いを込めてこのテーマを考えました。

主催：日本木材青壮年団体連合会

後援：文部科学省・農林水産省・NHK・全国木材組合連合会・全国造形教育連盟

協賛：株式会社損害保険ジャパン・グリーンサンタ基金

## 日本木材青壮年団体連合会

### 第 35 回全国児童・生徒木工工作コンクール参加のお願い

全国児童・生徒木工工作コンクールの開催に、長年にわたり皆様のご理解・ご協力を頂き誠に有難うございます。

木材は現代の私たちの生活のなかで非常に多く使用されておりますが、私たちが知らないところでもいろいろな形で活用されています。これは、大昔から人間が失敗と成功を繰り返し積み重ねてきたものです。

しかし最近では生活に物があふれているせいか、人が自ら考えて何かを作る機会が減少している傾向があると思います。使わない才能はすぐに退化し消えていくものです。

そこで、その失われつつある発想力・表現力を補う為に、いろいろな素材のなかでも非常に加工がしやすく・環境にもよく・最も身近にある自然素材である『木材』を使い、私たちよりも豊かな発想と可能性を持った子供たちが本コンクールに参加し、直に素材に触れて、考え、工作する機会を与えることで物作りへの興味を深めてもらえればと思います。

本年度も引き続き、本コンクールへのご参加・ご支援を賜われますようお願い申し上げます。

また、例年参加されていない地区・学校も今後新たに参加していただけるようご協力宜しくお願い致します。

日本木材青壮年団体連合会

平成 22 年度会長 落 合 祐 二  
副会長 中 川 雅 文  
木工工作委員会  
委員長 益 子 敬 一

## 【第35回全国木工工作コンクール実施要綱】

全国審査会日	平成23年	3月上旬を予定しています。
結果伝達の日	平成23年	3月11日（金）頃
表彰式の日時	平成23年	6月4日（土）日本木材青壮年団体連会 全国会員関東大会にて
審査委員	委員長	全国造形教育連盟
	委員	教育行政関係者 林野行政関係者 NHK事業部 全国木材組合連合会 日本木材青壮年団体連合会 日本木青連 木工工作委員会 敬称略・順不同 ※その他 審査会実施地近郊の造形教育に係わる方を若干名予定しています。

### 表 彰

応募作品は、小学生低学年（1～4年）、小学生高学年（5,6年）、中学生（全学年）の3部門に分け、それぞれの優秀作品に対して下記の表彰を授与する。グループにて申し込みの作品についてはグループ名とする。

・文部科学大臣賞	全部門で	1点
・農林水産大臣賞	小学校低学年の部	1点
・同	小学校高学年の部	1点
・同	中学校の部	1点
・林野庁長官賞	小学校低学年の部	1点
・同	小学校高学年の部	1点
・同	中学校の部	1点
・NHK会長賞	全部門で	1点
・全国造形教育連盟 委員長賞	全部門で	1点
・全国木材組合連合会 会長賞	全部門で	1点
・損保ジャパン賞	小学校低学年の部	1点
・同	小学校高学年の部	1点
・同	中学校の部	1点
・グリーンサンタ賞	小学生低学年の部	1点
・同	小学生高学年の部	1点
・同	中学生の部	1点
・日本木材青壮年団体連合会 会長賞	全部門で	1点以上
・日本木青連 木工工作委員長賞	全部門で	1点以上

## 応募日時

平成23年1月20日から平成23年2月20日までに、所定の応募用紙により申し込みして下さい。

※ 全国審査の作品の搬入は、当会会員会団を通じ、必ず当委員会が指定する期日、場所までお願いします。審査会作品発送要項は、平成21年12月頃会団長宛に連絡します。

## 応募作品

第1部門 小学生低学年（1～4年の児童）

第2部門 小学生高学年（5，6年の児童）

第3部門 中学生（全生徒）

以上の小・中学校の児童・生徒で、在籍学校を通じて個人またはグループで当会会員会団が主催する地方木工工作に応募する。その出品作品の中から優秀と認められた作品を審査します。

（各会団からの出品作品は最大9点までとします。）

## 作品基準

木材及び木産材を主材料として利用・加工した創作品で、作品の大きさは一辺の大きさが75cmを超えないもの。

《注1》75cmを超えると審査対象外になります。

《注2》搬入搬出において、壊れにくいもの

（破損した場合の責任は負いません）

《注3》作品の発送は、必ず梱包をした上で発送をお願いします。

その際、梱包は必ず1作品ずつ別々をお願いします。

《注4》各作品は、必ず所定の用紙に学校名、学年（1～3部門の分別を明記して下さい）、氏名、住所、作品名、寸法を明記し、作成者または学校関係者の書いた作品説明を加えて下さい。

《注5》作品の間違いを防ぐため、作品写真を添付して下さい。

## 審査方法

審査は、作品の現物を確認して、審査委員会によって行います。

その際、公平に審査を行うために出品会団等が特定できないよう小学校名・作成者名等は公表いたしません。

## 審査のポイント

各学年としての発想に留意し、下記の各項を満たすもの。

### ○子ども自ら考え

1. アイディアに独創性があるか
2. 再現性・写実性に優れているか
3. ファンタジーや夢があるか
4. 木の自然の良さ・持ち味を活かしているか
5. デザイン・機能性が優れているか

### ○親子で共同制作したもの

1. 誰がどのように協力したのかを作品説明に明確に示してほしい。

### ○児童・生徒が複数名で作成したもの

1. 作成人数とどのように作業を分担して作成したかを記載して欲しい

## 問い合わせ先

### ○日本木材青壮年団体連合会 木工工作委員長 益子 敬一

〒310-0826 茨城県水戸市渋井町2-2-1

TEL 029-224-3056 FAX 029-221-9070

### ○日本木材青壮年団体連合会事務局

〒135-0031 東京都江東区佐賀1-16-3 林ビル2F

TEL 03-5620-4806 FAX 03-5620-4809

### ○各地区コンクール事務局

地方コンクール 平成22年7月17日（土）から平成22年12月末日  
各都道府県において当会会員会団が主催  
（詳細は各コンクール事務局にお尋ね下さい。  
後援予定は、都道府県、市、放送局の予定です。）